

国際日本研究センター 海外大学・機関 調査表

訪問先	大連外国語学院（中華人民共和国大連市旅順南路西段6号）
調査日時	2010年9月7日 10:00～16:30
調査対象機関・学科・個人名	大連外国語学院日本語学院 副院長 宮 偉 教授
訪問目的	<p>1. 日本語学院副院長の宮偉教授を訪問し、大連外国語学院日本語学院における日本語教育・日本語研究の状況について、事前に準備しておいた質問項目に基づき、インタビューを行った。</p> <p>2. 大連外国語学院日本語学院の日本語の授業を実際に見学させていただき、資料用に写真も撮影した。</p> <p>3. 大連外国語学院の教室・学生会館・学生食堂・図書館などの教育施設を見学させていただいた。図書館では主に日本語の蔵書・雑誌・新聞などについて見学し、日本語教育・日本語研究関係の蔵書状況について確認した。</p>
調査方法	項目に従ったインタビュー、写真

調査結果

【機関の性格】

中華人民共和国遼寧省大連市に位置する大連外国語学院は、中国東北地方では唯一の外国語大学である。1964年に大連日本語専科学校として発足し、1978年に現校名となった。英語、ロシア語、ドイツ語、フランス語、韓国語など多くの専攻コースが設けられている中で、日本語学院は最も古く、また規模も最大である。日本語学院の学部生は3,200名、大学院生は160名在籍しており、学生数は中国国内の日本語専攻を持つ大学ではトップであり、世界最大の日本語教育機関であると言える。

【日本にかかわるコース概要・開講科目について】

日本語に関する授業としては専門必修科目として「基礎日本語」「視聴覚日本語」「日本語会話」「日本語読解」「日本語作文」「高級日本語」「日本語翻訳」「同時通訳」「日本語概論」などの科目を履修し、以上のような語学科目以外にも選択必修科目として言語文化分野、国際貿易分野、ビジネス分野、高級通訳翻訳分野、旅行業分野と分かれたいくつかの分野から授業を履修する。それ以外に卒業論文を執筆し、最終的な卒業所用単位は合計169単位となる。

【上記のコースの運営・科目開講にかかる問題・努力】

日本語学院では開設当初より常に日本語の実践的な運用能力の育成方面に教育の重点を置いてきた。話す力、聞く力などの運用能力を伸ばすことを重視するというこの日本語教育の目標は現在でも変わらず、カリキュラム上にも反映されている。

問題点として挙げられるのは、学生の日本人との交流の機会が少ない点である。日本語学院は旅順キャンパスにある一方で、日本人留学生が中国語を学ぶ漢学院は大連市内の南山キャンパスにあり、日本人は旅順キャンパスにほとんどいないので、学生が日本人と交流し自分が学習した日本語を実際に使用する機会がないのが現状である。

【上記のコース・科目にかかわる教員について】

日本語学院の教員数は現在81名である。専門分野は、経済学が専門である教員も数名いるものの、大部分は日本語学、日本文学を専門とする教員で構成されている。教員の学位は現在大部分が修士で、博士号取得者は8名、現在大学院博士課程に在籍している者が20名いる。

【上記のコース・科目を履修した卒業生の進路について】

学生の卒業後の進路としては、日本語力を活かして日系企業に就職する

	<p>者と、大学院に進学し日本語の学習・研究を続ける者が大部分（ほぼ 80% 以上）を占める。特に大連には日系企業が大小合わせて 3,700 社あり、毎年多くの日本語を使える人材が求められているので、この方面での就職が多い。特に近年は IT 産業方面へ就職する学生が増えてきている。</p> <p>【まとめ】</p> <p>大連外国語学院と東京外国語大学は 2006 年に提携が結ばれ交流校となっている。</p> <p>日本語学院としては、東京外国語大学とまずはぜひ日本語の方面での交流、具体的には日本語の共同研究や、教員の交流などを行いたいと考えている。また、教員の研究における交流だけでなく、学生の交流も実現できればよいと考えている。</p>
備考	<p>【東京外国語大学との関係（外語大卒業生の有無など）】</p> <p>交流協定校（2006 年より）。</p> <p>日本語学院の教員の中に、東京外国語大学大学院の修了者が 1 名いる。</p> <p>【連絡先】</p> <p>大連外国語学院日本語学院 副院長 宮 偉 教授</p> <p>【受け渡し資料】</p> <p>(1) 大連外国語学院日本語学院大学案内</p> <p>(2) 日本語授業科目一覧</p> <p>(3) 日本語学院と交流のある日本の大学一覧</p>

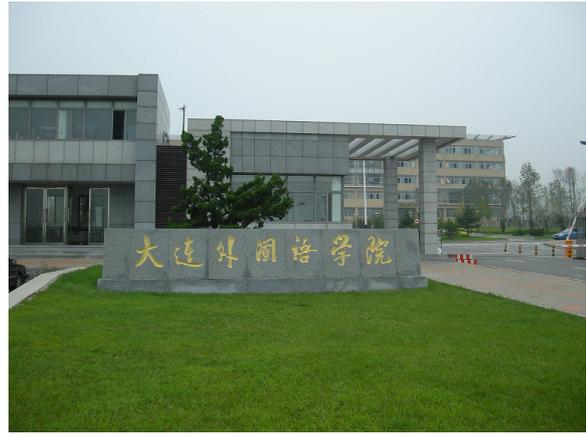
調査担当者：三宅 登之

授業の様子



大学キャンパス





図書館・日本語図書

